

福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞
TBSラジオ『メイのいきいきモーニング』取材紹介施設

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
350・0019 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局
☎049・230・1111 FAX230・1112

高校生・職場体験参加者の声

介護士になるぞ、という気持ちに！

○ 先日の職場体験では大変お世話になりました。

(中略) 実際に福音の園の方へお邪魔させていただいて、入居者さんとお話ししたり、一緒にご飯を食べたりしているうちに、介護士になりたいという気持ちが、介護士になるぞ、という気持ちになりました。将来は福音の園の従業員さんのように、強くて明るい介護士になって、お年寄りの方を支援していきたいと思えます。

〈埼玉県立川越西高等学校 一学年(当時) S・Nさん〉

○ 先日は、私達のために職場体験をさせて頂き、誠にありがとうございました。(中略) 職場体験を通して学べた事は沢山ありました。お年寄りを介護する事は、楽ではない事や、お年寄りと触れ合う事が本当に好きでなければ出来ないお仕事だということが分かりました。自分の夢は、まだまだはつきりとはしていませんが、この職場体験で夢のカケラを少し手に出来たかも知れません。これから先学んだ事をふまえて、将来への材料にしたいと思います。有難うございました。

〈埼玉県立川越西高等学校 一学年(当時) S・Rさん〉

事業理念の再確認

「松下は、人をいっしょにする会社だ！」

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤卓巳
松下幸之助さんは、晩年、松下政経塾の授業でこう話されたと言う。「私は、松下(現・パナソニック)の社員にいつも言っていた。『あなたの会社は何を作っているのですか?』と尋ねられたら、『松下は、人をつくる企業です。』と答えなさい。松下は、人間をつくる企業であって、製品をつくる企業ではない。よい人間を育てれば、自然とよい製品ができる。」

「人作りこそが事業成否のかなめである。」というこの名言は、すべての業種において共通しています。

チームワークの大切さに気付かされて

埼玉県が主催する各種研修会でお世話になって
いる「埼玉県認知症グループホーム協議会」リーダー・西村美智代さんは「現在、埼玉県グループホーム協議会の会長を務め、認知症介護の研修を年間何百人と行なっている。研修を開催する側も達成感が持てない。スタッフの入れ替わりの激しさに目を見張る。仕事にやりがいを感じているのに報われぬという悲鳴を受け、研修や集会、そして仲間作りの目的もあり、事例検討会を六年継続している。ケアのチームワークの大切さに気付いてほしい。継続は力なりと自分に言い聞かせ、この指止まれと研修を続けながら現場からの声を拾って社会に届けることを繰り返している。」とグループホームの現状と課題を語っておられる。

全職員出席・月一回「スタッフ研修・会議」で

毎月第三木曜日・午前九時〜十一時迄を定例「スタッフ研修・会議日」と定めています。当日、夜勤明け者や公休職員も含め全員出席して行ないます。



「共育」して「人財」にしたいと、

認知症高齢者介護の仕事は「好きで入った人たち」だけでなく、「入ったら好きになった人たち」へと育てていきたい。「3K」と酷評されながら我慢してやる仕事ではなく、プライドが持てて、やり甲斐ある仕事になる。それは人をつくることによって初めて達成させることができる。そのために、すでに働いている先輩たちが生き生きと喜びと誇りを持ってお世話している姿を見せる以外にない。

介護サービス事業所・管理者として、一緒に働くスタッフを「共育」し、なんとしてでも「人材」ではなく、福音の園・川越の「人財」にしたいと日夜苦心しています。人件費は「人権費」なのですから。こうして『この法人は、認知症高齢者、要介護老人、機能訓練を要する者に対して、グループホーム、デイサービスに関する事業を行ない、社会福祉の向上に寄与することを目的とする。』(定款)とする事業目的が達成されるからです。祈り。

御礼

業務用シャンプー・リンス ○〇様(練馬区)